



## 山口スイムサービス株式会社 (SSSグループ)

**所在地** 山口市吉敷下東1-6-15 (SSS スポーツプラザ吉敷店)  
山口市大内長野 460 (同大内店)  
山口市小郡令和1-1-2 (メディフィットラボ)

**代表** 新造 太郎

**H P** <https://www.fitsss.co.jp/>



今月号では、山口スイムサービス株式会社の新造太郎代表取締役社長にお話を伺いました。



### ●会社沿革

- 1979年 宇部スイミングスクールオープン
- 1983年 山口スイミングスクールオープン
- 1996年 フィットネスクラブ「スポーツプラザ吉敷」併設
- 2016年 デイサービス事業開始、機能訓練専門デイサービス「きたえるーむ」開業
- 2021年 メディフィットラボスポーツクラブ(指定管理施設)オープン

### ●スイミングスクールから多角化、地域の健康を支える

山口スイムサービス(株)、(株)宇部スイミングスクール、(株)岩国スイミングセンターから成るSSS (スリーエス)グループは、約45年前に宇部スイミングスクールを開いたことから始まりました。創業者である祖父の名前を取った「水津スイミングスクール」という名称を略して「SSS」になりました。

祖父は水泳が好きで、大学卒業後に教員となり、部活動で水泳を教えていました。ただ、教師をしながら水泳選手を育成することに難しさを感じたことや、水泳を通じて子どもたちを育てたいという強い思いがあり、創業に至ったようです。県内でも最初の方にオープンしたスイミングスクールでした。

その後、都市圏でフィットネスクラブが流行し、スイミングとの親和性が高く、地域の方がより健康になり、喜んでもらえると考え、フィットネスクラブ「SSSスポーツプラザ」も開きました。今では県内7カ所でスイミングスクールやフィットネスクラブを運営しています。

スイミングでは、ベビーコースで生後6か月から、80代で日本マスターズ水泳選手権大会に向けて練習される方もいらっしゃり、性別・年齢問わず、幅広い方にご利用いただいています。

コロナ下では影響を強く受けた業種の一つで、退会や休会が相次ぎ苦しかったのですが、会員数は以前と近い水準に戻り、地域からのニーズがあると感じます。スイミング、フィットネスのほか、デイサービスも手掛けているのですが、グループ全体では1万人を超える会員の方にご利用いただいています。

### ●現場の声を生かした施設づくり

SSSスポーツプラザ各店では、様々なスタジオプログラムを提供しています。店舗で異なりますが、ウェーブストレッチやエアロビクス、ピラティス、ヨガなど、多いところでは約30種類のレッスンが受けられるようになっています。

社内研修で提供できるようになるレッスンもあれば、外部のインストラクターに委託しているものもあり、幅広いプログラムを用意して楽しんでいただける環境を整えるようにしています。中には社員から「新しい資格やライセンスを取りに行きたい」という声が上がることもあります。ほとんどの場合、会社で費用負担をして、新たなレッスンを提供できるようにしています。



リニューアルしたフリーウエイトゾーン

また、吉敷店では新たなトレーニングマシンを導入したり、壁紙や照明の雰囲気を変えたりして、フリーウエイトゾーンを拡張しました。これも現場からの声を反映した結果です。ボディメイクをしたいという声があり、そういった要望に応えられる設備が足りなかったため、思い切ってリニューアルしました。

このように、社員の話を聞く機会はしっかり設けるようにしています。役員が全社員と面談する場を年に2回、支配人と仕事を振り返って今後の目標を立てる場も半年に1回実施



代表取締役社長の新造太郎氏



スポーツプラザ吉敷店の受付



ヨガレッスンに向けた研修の様子



しています。そういった場で意見が出てくることもありますし、現場では特にコミュニケーションを取ることを意識してもらっているのです。日頃の会話の中から出てくることが多いです。日常的なコミュニケーションの中で出てきた内容を支配人づてに聞いたり、私が各店を回る中で直接聞いたりすることもあります。

現場のスタッフがお客様と接する機会が最も多いので、意見を聞いて対応が必要だと判断すれば実行に移すようにしています。

## ● 山口市産業交流拠点施設のメディフィットラボを運営

当社はKDDI維新ホールに隣接する「メディフィットラボ」の運営もしています。メディフィットラボには小郡第一総合病院のサテライトクリニックが入っており、会員であれば病院の栄養士に痩身や美容のための食事法など無料で相談することもできます。また、厚生労働省から指定運動療法施設と健康増進施設の認定を受けているので、運動療法が必要な方は、月会費が医療費控除の対象になります。この認定を受けたのは当施設が市内です。高濃度炭酸泉を楽しめる温浴施設も人気です。



メディフィットラボ

施設内での運動だけでなく、様々なセミナーやイベントも手探りで企画しながら実施しています。例えば、お月見ヨガ、骨を健康にする料理を学ぶ食育イベント、糖尿病予防イベント、生涯歩ける身体づくりをテーマにした講演会、走り方教室などです。1月には「こどもパーク2024～こどもの未来を考える日曜日～」という親子で楽しめて学べるイベントを実施し、大学の先生を講師に迎えた様々な催しなどを行いました。お子様から運動愛好家、一般市民まで幅広い方に、健康増進に関心を持ち、運動を始めるきっかけになったり、健康に関する質の良い情報を得られる場にしたという思いで取り組んでいます。

また、メディフィットラボでは山口県から委託を受けた「やまぐちヘルスラボ」という事業も実施しています。県内外の企業のヘルスケアに関するサービスや商品の事業化支援等をするものです。今年度は、その食品を摂取するとどんな効果があるのかなど、実際に食してもらって確かめる実証実験の支援などをしました。

## ● 事業多角化で介護サービスも展開

先代が取り組んできた事業の多角化の一つで、フランチャイズで機能訓練専門デイサービス「きたえる一む」を県内で3店舗ほど運営しています。宇部市に2店舗と、山口市には一昨年オープンさせました。



きたえる一む山口中央店

機能訓練は、歩いたり、手を上げたりと日常生活に必要な動作の改善・維持を図るために行うものです。送迎を含めて、トレーニングや手技で体をほぐし、温めて、運動して元気にする支援をする半日型のデイサービスを提供しています。

体は動かさなければどんどん動きが悪くなります。ご本人だけでなくご家族も、そうなることを予防したいと思われる方は多くいらっしゃるので、今後店舗を広げていく可能性もあります。

## ● 人材育成に注力、子どもたちの心身発達も支援

人材育成にはさらに力を入れていきたいと考えています。代替わりをきっかけに、会長をはじめとした役員や支配人にも意見を聞き、人材の定着や育成に向けて1on1（ワンオンワン）ミーティングを導入することにしました。そのために、まずは管理職を対象に専門家を招いて研修を行います。4か月かけて、共感して聴く力、セルフマネジメント、褒める力、叱る力などを学び、スタッフと上手く向き合って、同じ方向を向いて働いていけるような環境をつくっていくことを計画しています。

夜が遅かったり、土日休めなかったりと、身体的にハードな業種であり、社員の平均年齢も若いことから、人材の定着には課題を感じています。ただ、会社としての最終目標は人材の定着ですが、それを社員に押し付けても仕方ないので、まずは「大切にしてもらえている」と感じられる職場づくりで、モチベーション高く働いてもらえる環境を目指していきたいと思っています。

また、創業から受け継いできた考えの一つで、これからの未来を考えると、子どもたちが健康に育っていくことは非常に重要なことです。例えば、初めての水泳で泣いてしまう子どもたちは多いのですが、1～2ヶ月すると、できなかったことができるようになって喜んでいる姿が見られます。成功体験を積むことは成長に大事なことです。子どもたちのそのような喜びは、働いている側にとっての喜びにもなります。体はもちろん心も含めて、新しいことにチャレンジして子どもたちの可能性の扉を開いてあげることも我々の役目だと考え、これからも真摯に向き合っていきたいと思っています。